

福岡和白病院リハビリテーション科でパーキンソン病に対して LSVT BIG（運動療法）を受けられた患者様へ

当院リハビリテーションでは下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	LSVT BIG 介入前後の運動症状と日常生活動作能力および生活の質との関連
当院の研究責任者（所属）	山本 泰章 リハビリテーション科
本研究の目的	パーキンソン病における LSVT BIG の介入前後の運動機能の変化、日常生活動作及び生活の質と関連する運動機能の要素の調査
調査データ該当期間	研究期間：倫理委員会承認日から2026年5月31日まで （調査対象期間 2022年11月1日～2025年9月30日）
研究方法	<p>●調査の対象となる患者様● 当院脳神経内科に通院中のパーキンソン病患者 Hoehn&Yahr の重症度分類で stage I～Ⅲ 西暦 2022 年 11 月 1 日～西暦 2025 年 9 月 30 日の間に LSVT BIG が行われた患者</p>
	<p>●使用するカルテ情報● 年齢・性別・パーキンソン病の罹患期間・既往歴・ （パーキンソン病の重症度分類）Hoehn&Yahr 分類 ・ （パーキンソン病の運動症状の評価尺度）Movement Disorder society-sponsored Revision of the unified Parkinson's Disease Rating Scale part3 ・ （パーキンソン病の健康関連 QOL に対する質問指標）PDQ-39 ・（日常生活動作の評価尺度）FIM</p>
	<p>●試料や情報の管理● 研究責任者は、研究等の実施に係わる文書（申請書類の控え、病院長からの通知文書、各種申請書・報告書の控、研究対象者識別コードリストその他データの信頼性を保証するのに必要な書類又は記録等）をリハビリテーション科の鍵のかかる引き出しに保管する。保管期間は、研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とする。保管期間終了後は、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し廃棄する。その他媒体に関しては、匿名化のうえ適切な方法で廃棄する。</p>

<p>情報の取り扱い</p>	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は第67回日本神経学会学術大会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。</p>
<p>本研究の資金源・利益相反[※]について [※]外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。</p>	<p>本研究に関連し、報告すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>福岡和白病院 リハビリテーション科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：山本 泰章</p>